



わたしたちはいつでもなにかをあたえることができます

このひとは、とぼしいなかからじぶんのもっているものをすべて、
せいかつひをぜんぶいれたからである。(マルコ 12・44)



イエスはエルサレムのしんでんのちかくでみんなをみています。イエスははなしをきいているでたちち、ほめられることだけをのぞんだり、えんかいでまえにすわり、ひろばであいさつされたり、そうならないようにちゅういしています。



いりぐちにけんきんばこがありました。おおくのひとがとおりにかり、かねもちはそのこにたくさんおかねをいれました。まずしいやもめがきて、イエスはやもめがこぜにを2まいしかいれていないことにきづきました。



そしてイエスはつぎのようにはなしています。かねもちもたくさんいれましたが、もっともっていました。しかし、やもめはととてもまずしかったのに、いきいていくためにひとつのようなものをすべてをさだしました。



クリスマスのいみをおもいだすために、まいとし、おさなごイエスさまのせっこうをじゅんびします。こまっているひとたちをたすけるためです。いちど、おんなのひとがちがづいてきたのですが、たべものをかうおかねがほとんどありませんでした。



わたしたちは「もっていてもいいよ」といいました。おどろいてイエスさまをもつて「いまのじだいでは、もうだれもなにもあげようとしません！あなたたちはとくべつです」といい、2ユーロくれましたが、こまっているのかやかったので、ジェン4とは、キアラ・ルービックが創立したフオコラーレの子どもたちです。© PAFOM, フオコラーレ www.focolare.org. イラストと文-ジェン4センター監修



おかねをかえました。かんじよはとてもよろこびなみだをながし、わたしたちにかんしゃしました。そのあとすぐ、りっぱなおとこのひとがとおりにかり、10ユーロいれていきました。イエスさまはまんとうにかんだいです。スロベニアのジェン4